

開倫塾の使命は、塾生の自己学習能力の育成。この使命の実現を、日々の仕事の中心に

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : 開倫塾のすべての先生に期待することは何ですか。

A : 使命感を持ち、毎日の仕事を行うことです。「開倫塾の使命は、『自己学習能力の育成』。この使命の実現を、日々の仕事の中心に」、これが開倫塾の先生に期待することです。

Q 2 : 例えば、どのようなことですか。

A : 「授業」の中心に、「自己学習能力の育成」を据えることです。

(1) 「自己学習能力の育成」の前提は、「本人の自覚」です。

① 「本人の自覚」を促すために、毎回の授業で 3 分間、ためになる話をする「武者語り」の時間を持つことは、開倫塾のすべての先生の義務事項です。

② 何をどう伝えるかは、先生方の力量により決定されます。是非、立派なお話を塾生にしてあげてください。

③ 伝えるべき内容は、あらかじめメモや文章にまとめ、何回も下読みをする。読む練習をすると、心に響く「武者語り」ができます。話の内容は、校舎だよりや掲示などで広めてください。遠慮は不要です。

(2) 「自己学習能力の育成」のためには、効果の上がる学習方法を身に着けることが欠かせません。

① 授業の合間合間に、「学習の 3 段階理論」の一つ一つの内容を、具体的にお伝えください。

② 「学習の 3 段階理論」が、よく理解できたかどうか、身に着いたかどうか、自分一人でするようになったかどうかを確認してください。

③ たとえ短い間でも、開倫塾で学ぶ人はすべて開倫塾の「塾生」です。開倫塾の塾生には、効果の上がる学習方法を示した「学習の 3 段階理論」を、少しずつでも身に着けさせてあげてください。必ず役に立ちます。一生役に立ちます。

(3) 「個別面談」の大半の時間で、一人一人の塾生の「自己学習能力の育成」を目指してください。「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をどう身に着けたらよいかを、塾生の立場で考え、個別面談に臨む。

① 「自己責任」

② 「自助努力」

③ 「自分の未来は、自分で切り開く」「諦めたらおしまい」

など、人生の基本的態度なども、参考意見として、教えてあげてください。

Q 3 : 「自己学習スペース」は何のためにあるのですか。

A : 「自己学習能力の育成」のためです。

- (1) 「授業」や「個別面談」を踏まえて、「自己学習スペース」を最大活用し、すべての塾生の「自己学習能力の育成」を実現しましょう。
- (2) 新学期に入ると、受験学年の塾生は受験一色になります。
 - ①先生方の勤務時間中は、「自己学習スペース」で塾生の「自己学習能力の育成」を図りながら、受験勉強をする機会を与えることを、自らの「使命」の実現としましょう。
 - ②毎日夕刻から、東京本部は 10 時まで、北関東は 10 時 30 分まで、ひたすら「自己学習スペース」で「主体的に学ぶ力」を身に付けながら、第一希望校合格を自らの力で勝ち取らせましょう。
 - ③開倫塾の「自己学習スペース」で「ハードな長時間自己学習能力」を身に付けさせ、全塾生を第一希望校合格に導く。開倫塾で身に付けた「ハードな長時間自己学習能力」は、上級学校に進学後、また、社会に出た後、絶大な効果を発揮します。

Q 4 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) 塾生の「自己学習能力の育成」を毎日の仕事の中心におくことのできる開倫塾の先生ほど、社会に役立つ仕事を毎日できる人はいないと確信します。
- (2) 今、学校で学ぶすべての内容は、上級学年や上級学校の基礎・基本となるもので、すべて役立ちます。現代は知識基盤社会ですので、学校で学ぶ知識は最低限度のものとして、すべて不可欠です。
- (3) AI、IoT、高度情報化社会は、指数関数的に進化し続けます。そのような社会で最も必要なのが、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」「自己学習能力の育成」です。
- ①例えば、スマホを使うにも、スマホの基本的な仕組み、一つ一つの機能を正確に「理解」し、正確に「定着」させ、自由自在に使いこなす「応用」力を身に付けることが大切です。
 - ②「自己学習能力」や「学習の 3 段階理論」が最も役立つのが、スマホ、タブレット、パソコンなどの情報端末の活用です。
 - ③画像診断などの最先端医療や、介護を含むデータ分析にも欠かせません。現代社会が一番求める「データ・サイエンティスト」の基本条件は、「自己学習能力」「学び方を学ぶ力」を身に付けていることです。
- * 以上は、開倫塾日本語学校で学ぶすべての塾生にも当てはまります。
どうかよろしく願いいたします。

2018 年 8 月 27 日 (月) 8 時 24 分